

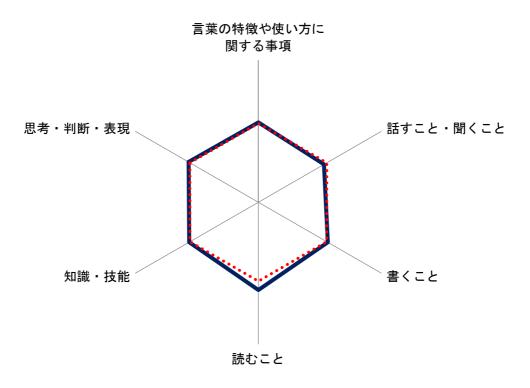
令和7年度 全国学力・学習状況調査 (各教科観点別等の状況) 結果

八幡浜市

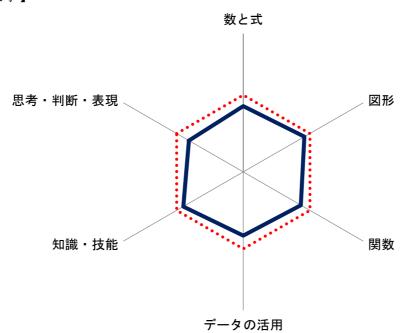
○ 教科に関する調査(全国の平均正答率との差)

 【国語】
 —— 市平均

 …… 全国平均



【数学】



中学校

令和7年度 全国学力・学習状況調査 (各教科観点別等の状況) 結果

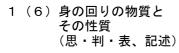
八幡浜市

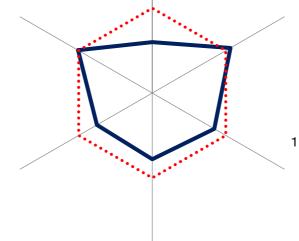
○ 教科に関する調査(全国の平均正答率との差)

【理科】

※全ての生徒が解答した共通公開問題(6問)について、問題ごとに 全国の平均正答率と県や市町の平均正答率との差を比較したもの 市平均全国平均

1 (1) 電気とそのエネルギー (知・技、選択)





1 (2) 身の回りの物質と その性質 (思・判・表、記述)

1 (5)原子・分子 (知・技、短答)

1 (4) 生命を維持する働き (知・技、選択)

1 (3) 身近な地形や地層、 岩石の観察 (思・判・表、選択)

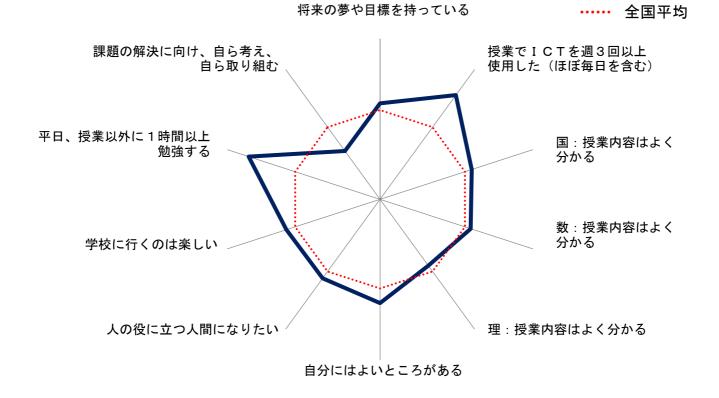


令和7年度 全国学力・学習状況調査 (学習や生活の状況) 結果

八幡浜市

— 市平均

○ 生徒質問調査(全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「読むこと」の項目が全国平均を上回るとともに、ほとんどの項目が全国平均と同程度の結果になっている。一方、数学の全ての項目と、理科の公開問題の多くが、全国平均を下回っている。特に理科の1(1)の問題が全国平均を大きく下回っており、基礎的・基本的な知識の習得に課題が見られる。今後は、生徒一人一人の結果を詳細に分析し、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に定着させる取組を継続的に実施するとともに、知識を活用しながら学びを深めるという視点からの授業改善をより一層推進することが望まれる。

生徒質問調査では、「平日、授業以外に1時間以上勉強する」「授業でICTを週3回以上使用した」の項目が全国平均を大きく上回っており、極めて良好な結果である。一方、「課題の解決に向け、自ら考え、自ら取り組む」の項目が全国平均を下回っており、昨年度に続き課題である。今後は、生徒が他者と協働し、自ら学びを調整しながら主体的に問題解決に取り組む活動を中心とした授業改善を推進していくことが望まれる。